

# 慶應志木会会報

慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

1998  vol. 18

'97  
11/30

**第3回  
志木会総会  
開催されました!**



**祝！50周年  
記念式典**

## 塾長あいさつ

慶應義塾志木高等学校同窓の皆様がめでたく第3回慶應義塾志木会総会を迎えられましたことを心からお祝いを申し上げます。

慶應義塾は来年140年を迎えますが、我々はこの国を率いてきた大きな歴史を背負っているという誇りと自負、そして喜びを禁じえません。慶應義塾志木高校におかれても、卒業生の皆様が日本の各界、世界のあらゆる分野においてすばらしい活躍をしてこられ、その歴史もまた大きな歴史でありました。

我が国は長い時間をかけて経済発展を遂げましたが、その過程では社会の中心となる産業が次々と世代交替をいたしました。かつて農業や商業が非常に重要な産業であった時代、慶應義塾でも、獣医畜産学校、農業学校、あるいは三田の商業学校、商工部を教育システムの中の重要な部分として位置づけました。やがて近代的な製造業や第3次産業が重要な役割を果たすようになると、慶應義塾も柔軟に考えを切り替えて、新しい時代の高等学校教育の分野を切り開くことを目的に、昭和34年、志木農業高等学校を慶應義塾志木高等学校とし、教育内容も刷新したわけがあります。その年から数えますと、今年がちょうど40年。また、農業高等学校発足以来50年となる、まことにめでたい年なのであります。

しかし、振り返ってみますと、この戦後50年の若者たちへの教育は決して進歩だけの歴史とはいえ、反省すべきことも多い歴史でした。とくに残念に思うのは、入学試験の競争が激化するあまり、偏差値だけが人間評価の標準、尺度として使われ、その結果として学校教育が画一化されていったことです。しかし、そのような中でも、慶應義塾志木高等学校では、まことに誇るべき大きな特徴がいくつかあったと私は思います。

そのひとつは、いまや日本が改めて取り戻さなければならない、強い意志、使命感、そして強い力を持った若者を育てるという男子教育の本来もつべき姿を伝統の中で守りぬいてきたことです。

慶應義塾志木高等学校のもうひとつの特徴は、じっくりと物を考える若者を育てるという教育姿勢です。日本や世界のあらゆる分野で、かつての生徒時代の教育、薫陶の成果がいかんなく発揮された人々が多数活躍しております。

それに加えて、「実業」という言葉に象徴されますが、ひとりひとりがそれぞれの仕事に励み、ひいては日本の経済を支えようという意識がはっきりと存在していることです。

皆様が住んでいる地域ばかりでなく、この国の産業、政治の担い手となるという意識が明瞭に存在しています。

そして、志木高等学校には農業高等学校以来、自然を大切にすることを原点として物考える姿勢があります。こうした特色は慶應義塾全体にとりましても、非常に大切な要素であり、ぜひ大切にしていきたいことと私は考えています。

いま、我が国は未曾有の乱世、まことに憂うべき現象があらちこちらに起きております。そうしたいわば乱世の時代を率いていくにふさわしい学校、それは一体どんな要素を持っていなければならないのか。また、新しい時代を率いていくにふさわしい人材はどのように養成すべきであるのか。そのようなことを考えますと、改めて慶應義塾志木高等学校には3つの目標を掲げてほしいと思います。

その第一は、人格教育と基礎的な教養教育です。さすがに慶應義塾志木高等学校の卒業生だ、という言葉が人々の口にのぼるほどのすばらしい人格、そして世界に通用する幅広い教養を持った卒業生を世に送り出す高等学校であり続けてほしいのです。

第二には、これからの科学技術の益々の先端化に備え、先端的な分野の基礎教育を重視する、まさに実験的な教育ができる学校になってほしいと思います。

第三には、日本と世界が大きく変容する中でその担い手としての資格・素養を十分にを持った人材を教育し、国際的に貢献できる高等学校でありたいものです。

いうまでもなく、この3つのことはすでに志木高等学校の卒業生の皆様におかれて実現されておりますが、新しい時代には新しい時代のやり方・考え方が必要です。これを慶應義塾志木高等学校の構成員、教職員の諸君、また卒業生の皆様の協力を得て実現していくことが次の目標になれば、どんなにすばらしいことかと思うのであります。

日本中の人々が、これこそが新しい学校だと思ってくれるような変革された慶應義塾志木高等学校をこれから一緒に作っていききたいと思います。

本日ご来賀のすべての卒業生の皆様、また、およそ1万1000名にのぼる志木高等学校卒業生すべての方々の益々のご活躍、そして我が慶應義塾志木高等学校の未来を記念いたしまして、私のあいさつに変えます。誠におめでとうござります。

# 第3回総会式次第

於 '97.11.30

## 第一部 総会及び記念講演 式次第 (ホールC)

時分	所要時間	事項	登壇	司会
11:00	1分	開会宣言		野間脩平 アナウンサー
11:01	3	塾歌斉唱 1番のみ	応援指導部員	
11:04	3	慶應志木会会長挨拶	櫻井英太郎会長	
11:07	1	議長選出	櫻井会長	
11:08	9	新役員の選任 1. 契約改正 2. 監事の選任 3. 新会長の承認  議事終了	鐵野善資名誉会長 龍野和久監事 菅原武監事 (多田毅会長予定者) (新監事)	
11:17	15	クラシックの調べ	歌 ピアノ 新保亮司 先生 新保かおり 様	野間アナ
11:32	25	記念講演	慶應義塾大学塾長 鳥居泰彦 様	野間アナ
12:57	2	御礼の言葉	五老輝彦副会長	
12:00		閉会の辞		野間アナ

## 第二部 懇親会 式次第 (ホールB)

12:30	1	開会宣言		野間脩平 吉沢一彦 アナウンサー
12:31	4	ご来賓の紹介 慶應義塾大学前塾長 慶應義塾大学塾長 連合三田会会長 慶應義塾高等学校同窓会会長 銀杏の会会長 (女子高等学校同窓会) 慶應義塾評議員会議長	石川忠雄 様 鳥居泰彦 様 服部禮次郎 様 友岡正孝 様 田村尚枝 様 三村庸平 様	
12:35	5	新会長の挨拶及び新役員の紹介	多田毅会長予定者 新監事	
12:40	5	名誉会長挨拶	慶應義塾志木高等学校 鐵野善資校長先生	
12:45	2	乾杯	連合三田会会長 服部禮次郎 様	
12:50	18	懇談	ライトミュージック ソサエティ	
13:05	15	恩師紹介 地方支部紹介 その他	歴代校長、元教員及び現教員 東海支部	
13:20	30	イベント キャッチフレーズ「後夜祭を再び！」	CCガールズ	
13:50	15	福引き		
14:05	25	応援歌及びエール (5～6曲)	応援指導部 チェアガール	
14:30		閉会の辞	本橋重夫実効委員長	

15:00～18:00 第三部 同期会 各会議室

## 会長あいさつ

志木会第3回総会開催にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には年末を控え何かとご多忙のなか遠路ようこそご参集下さいました。心より感謝申し上げます。

特に今回は志木高校創立50周年、志木会設立10年目の意義深い年にあたりますが、実行委員、更には幹事の皆様がこの半年間に亘りご盡力を重ねられ、又会員各位のご支援ご協力により総勢約1,300名のご出席を頂き、更には鳥居塾長、鐵野校長先生、歴代の教職員の皆様、三村評議員会議長、服部三田連合会長、そして日吉高校、女子高校、代表幹事の皆様、ご来賓70名様のご臨席を賜わり、ここに盛大なる総会を開催出来まことを厚くお礼申し上げます。

さて志木会設立10年を顧みますと当初農業高校として開校し約10年間、その後志木高校として40年がたちましたが志木会発足当初は両校の卒業生が一緒になって果して順調に発展してゆけるか危惧した時期もありましたが両校出身者、相助け合い、手を携え、団結心の強い素晴らしい志木会として発展してまいりました。これも偏に会員各位の資質の高さ、良き子弟関係、血の通った先輩後輩の仲の良さなど素晴らしい人作りの出来る校風によるものと思います。あらためて会員の皆様と学校当局に対し敬意と感謝を申し上げる次第です。又、志木会会員数はスタート時と比較して倍増しておりますし、平均年齢も若返っておりますので志木会の発展を更に確固たるものにするためには地方支部の設立が急務となっておりますが、幸い昨年東海支部が発足しました。今後各地区に支部組織が設立されます様願っております。

最後に私事で恐縮ですが私も一定の年齢に達しましたので今回会長の職を辞任し、副会長として貢献して頂いた7期の多田毅君にバトンタッチさせて頂きたく幹事会にお計り了承を頂きました。

皆様方のご支援ご協力を賜わり会長職を10年間に亘り無事務めさせて頂きました。衷心より感謝申し上げます。会員の皆様におかれましては益々交流親睦を深め、志木高の発展に寄与し、又会員各自が各地域、各方面に於て社会のリーダー役としてご活躍されますことを心からご祈念申し上げますご挨拶とさせていただきます。



実行委員長

## 新会長あいさつ

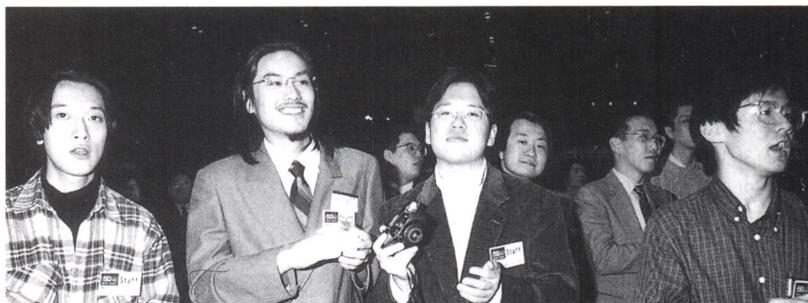
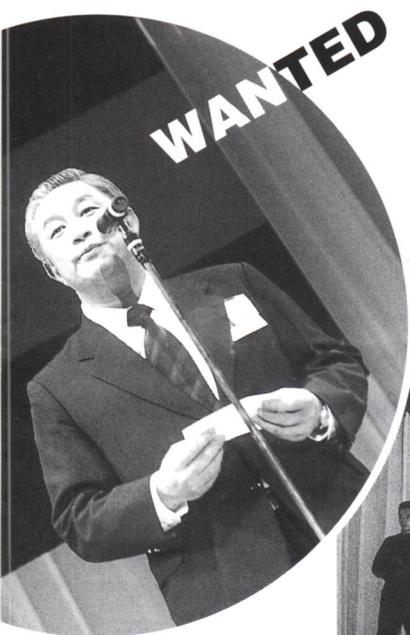
平成9年11月30日に第三回総会で新会長としてご指名を頂きました7期の多田でございます。志木会会長の大役を私のような人間が果たしうるのが躊躇致しましたが、志木会10周年を契機に櫻井前会長からの強い要請もあり、母校同窓会のために努力するべく、お引き受けする決心を致しました。志木会運営には皆様の絶大なるご協力なくては順調な運営ができません。何卒宜しくお願い致します。

母校志木高等学校も1998年3月に満50周年を迎え、創立以来の卒業生も11000名を数える事になり、会長としての責任の重大さを痛感致しております。

志木会の運営につきましては、前会長のもと、世話人会、幹事会、を中心として、皆様のご協力により、順調に運営され、年2回の会報の発行、5年に1度の総会の開催、名簿の発行、また、学校にたいしては、収穫祭等への支援をさせていただいております。また、学校からは、平成4年3月より卒業式に卒業40周年を迎えた卒業生をご招待いただいております。今後はこれらの活動を通じ、さらに会員相互の交流親睦をはかり、母校の発展に寄与したいと考えております。

また、1998年（平成10年）志木高等学校は、創立50周年を迎えますが、50周年を迎えるにあたり、学校より教育基金募集の要請を受けております。今後詳細を検討し、幹事会にお諮りし、皆様にお願いの連絡を申し上げたいと考えております。

以上簡単ですが、新会長としてのご挨拶とさせていただきます。今後とも何卒宜しくご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



以上 '97.11.30 総会の御報告を致します。

# FROM SHIKI ●志木だより

■ 4/6(月) 開式10:00	入学式	■ 12/9(水)	マラソン大会
■ 4/7(火)	ガイダンス	■ 12/11(金)	生徒総会
■ 4/8(水) 始業8:30	授業開始	■ 12/16(水)	志木演説会
■ 4/14(火)	新入生歓迎会	■ 12/16(水)	H.R.
■ 4/23(木)	開校記念日	■ 12/17(木)	授業終了
■ 4/27(月)	定期健康診断	■ 12/18(金)~1/9(土)	冬季休業
■ 5/8(金)	生徒総会	■ 1/10(日)	福澤先生誕生記念日
■ 6/6(土)	PTA総会	■ 1/11(月)	授業開始
■ 7/6(月)	学部説明会	■ 1/21(木)~1/26(火)	3年第3回テスト
■ 6/29(月)~7/3(金)	第1回テスト	■ 1/30(土)	3年授業終了
■ 7/6(月)	特別時間割(観劇等)	■ 2/3(水)	福澤先生命日、志木演説会
■ 6/19(金)	藤沢見学会	■ 3/8(日)	3年学部推薦発表
■ 7/8(水)~7/13(月)	クラスマッチ	■ 2/9(火)	入学試験日程
※14(火)・15(水)予備日		■ 2/27(土)	1・2年授業終了
■ 7/15(水)午後	志木演説会	■ 3/5(金)~3/7(日)	慶應志木の森植樹祭
■ 7/17(金)	父母会、授業終了	■ 3/10(水)	1・2年進級発表
■ 7/18(土)~9/3(木)	夏季休業	■ 3/24(水) 開式10:00	卒業式
■ 9/4(金)	授業開始		
■ 9/26(土)	50周年記念式典		
■ 10/1(木) 始業8:50	後期授業開始		
■ 10/5(月)~10/7(水)	1年研修旅行(箱根)		
■ 10/13(火)~10/16(金)	2年研修旅行(北陸)		
■ 10/12(月)~10/18(日)	3年見学旅行(北海道)		
■ 10/22(木)	理工学部見学会		
■ 11/7(土)・8(日)	収穫祭		
■ 11/10(火)	医学部見学会		
■ 11/24(火)~11/28(土)	第2回テスト		

## 「課外語学講座」について

志木高では数年前から21言語の課外語学講座が開設されていますが、最近、OBの方々(とくに年輩の方)からこの講座に参加したいという要望のあることを聞いています。生徒にとって、場合によってはおじいさん(?)の年齢に相当するような先輩と机を並べる機会が実現するのは意味あることではないかということで、現在、どのようなかたちで実施できるかについて検討をしています。

つきましては、どの言語にどれほどの人数の希望があるのかなどの様子を具体的に知りたいと考えています。また、これまでの実務体験などから、何語についてなら教室で勉強すると同時に後輩にアドバイスをしていただけるという方もあるのではないのでしょうか。これらのことについて関心をお持ちの方はこの会報発行後、1か月位のうちにハガキなどで志木会事務局まで情報をお寄せ下さい。

なお、当面、毎週金曜日放課後(前期PM3:10-4:00、後期PM3:30-4:20)に実施されている「課外語学講座(中級コース)」をOBの方々にも開放するかたちになるかと思われます。また、この講座は正課の時間帯に開設されている(初級コース)を受けて(中級コース)として設置されていますが、OB参加の場合にはグレードについては改めて検討できるとと思われます。21の言語は右の通りです。

# FROM SHIKI ●志木だより

志木会の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のことと存じます。更に、昨秋は志木会結成10周年を迎え盛大な総会・懇親会が開かれ、成功裏に幕を閉じました。重ねてお喜び申し上げます。また、皆様方の母校に対する常日頃の暖かいご支援、ご協力に対して深く感謝し、改めて厚くお礼申し上げます。

ご存知の通り本校も創立50周年を迎え、4月には51回目の入学式を挙行し、252名の新入生を迎えました。卒業生、在校生の合計は1万1500名を数えます。私自身、授業・クラブ活動・生徒会活動・学校行事等で直接、または間接にお付き合いをした生徒諸君も8000名を越えます。この間いろいろな出来事がありました。楽しいこと、悲しいこと、苦しいこと、悔しいこと等々思い出は尽きません。

私が初めて志木校に赴任した昭和41年以前に通学していた諸君、東上線の電車を覚えていますか。私の記憶では床が木造でした。志木高はまだ旧校舎の時代です。玄関には車止めがありました。教室が離れているため雨の日は傘をさして教室へ行きました。寒い冬の日にはダルマストーブで暖を取りましたね。コークスが無くなると壁板を燃す生徒もいたようです。昭和43年新校舎に移りました。HR棟は4階、管理棟は3階、理科棟・文化棟・体育館は2階建。旧校舎時代は殆んどが平家だったため休み時間は校庭に出て汗を流すことができました。新校舎では校庭に出ることまなりません。勢い教室での遊びとなります。水爆が流行したのもこの時です。

次第に交通の便も良くなりました。武蔵野線が開通し、東京都下、千葉県、埼玉県の東北本線沿線からの通学生も増えました。それに反比例するように地方からの入学生が減りました。その為、寮の閉鎖という少々残念な事態を生じました。一流校に仲間入りした今の状態が悪いという訳ではありませんが、入試制度を検討し、多様・多彩な人達を集めなければならないと思います。

この新しい志木会名簿は、過ぎし青春の日々を懐かしく思い出す縁となるでしょうし、広く全国各地で活躍されている会員諸君の心の絆を更に深め、志木会の発展に大いに役立ち、諸君の母校慶應義塾志木高等学校の輝かしい未来に繋ることと期待しています。

龍田 正浩

講座番号	講座名	講座番号	講座名	講座番号	講座名
1	ドイツ語	8	アラビア語	15	タイ語
2	フランス語	9	インドネシア語	16	トルコ語
3	スペイン語	10	ヴェトナム語	17	ビルマ語
4	イタリア語	11	古典ギリシャ語	18	ヘブライ語
5	ロシア語	12	サンスクリット語	19	ペルシャ語
6	中国語	13	古典ラテン語	20	ポルトガル語
7	朝鮮語(韓国語)	14	スワヒリ語	21	モンゴル語

課外語学講座(中級コース)担当 松崎

# 50周年記念



## 多田毅・慶應志木会会長による式辞

OBを代表して、多田会長が式辞を述べました。

志木の地に根を下ろして半世紀。  
塾内外・国内外に多数の人材を輩出した我等が母校。

青春を過ごしたあの頃を思い起こせば、友人、恩師、先輩、後輩、お世話になったあの顔、この顔……。

卒業しても、OB一同、志木高に対する熱い思いは変わりません！

## 記念植樹の様子

本校校舎裏で、鐵野校長・鳥居塾長等関係者による菩提樹の記念植樹が行われました。

農業高校を母胎として生まれ、緑あふれる広大な森を持ち、三重にも独自の森を持つ慶應義塾志木高等学校。木とは深い緑があるようです。

21世紀の母校の新しいシンボルとして、生徒たちを温かく見守って欲しいものです。



## 石川快・生徒会長による式辞

在校生代表として、石川快・生徒会長が式辞を述べました。

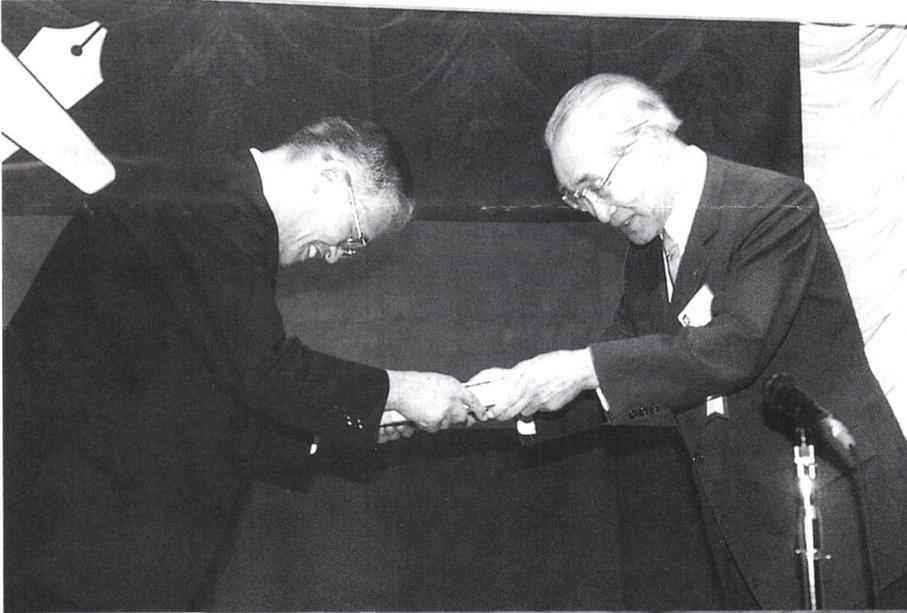
金髪十色眼鏡にOB一同唾然、仰天、絶句。  
「時代は変わった」の声多数。

彼曰く、あの髪型には深遠な理由があるとのこと。

盛り上がる在校生を見て、我等も遠い遠いあの頃に思いを馳せました。



# 50 Anniversary



## 櫻井前会長表彰

懇親会の冒頭、慶應志木会への貢献への感謝の意を込めて鐵野校長より櫻井前慶應志木会会長が記念表彰されました。創立より10年を迎えた慶應志木会。この10年間、会の発展にご尽力された櫻井前会長、本当にお疲れさまでした。

## 懇親会の様子

式典終了後、志木駅南口のベルセゾン志木で、懇親会が開かれました。

懐かしい顔に美味しい食事、話が弾みました。「ともに髪が白くなったな」「あいつは今どうしてる?」「先生ご無沙汰しております」…。50年の歴史を改めて実感。

## 中年健康談 歯根の破折と歯周病

(かみざき歯科医院)

23期 井坂 透

根の破折は神経をとった無髄歯に起こるのですが、多くの時間と費用をかけたのに4～5年で折れてしまうケースもあります。土台となる金属の立て方や、上部構造の咬合の与え方等研究は進んでいるのですが、結局のところ、できるだけむし菌でも神経はとらないということにつきると思います。数年前から婦人科で使うような嫌気性菌をたたく抗生物質もむし菌治療に使われるようになり好成績を治めております。

もう一つやっかいなのが歯周病であります。私もFOPやGTR法といった最近はやりの治療法もとりに入れているのですが、結論から言うと、やはりダメです。

この分野でもある有名な先生は食事療法から始め米は玄米、肉は月一度、魚も週一度というような指導ですが、社会の第一線で活躍されている皆さんはこれは無理と言われると思います。この分野にも薬物療法もありますが、末期の歯周病では焼け石に水であります。結局予防するしかないということはよく磨くということになります。

歯磨剤は何でもかまいませんが、できるだけ高価な製品を買っていただきたい。何故ならもったいないので良く磨いていただけるという理由です。電動歯ブラシも数万円の高級品が良いでしょう。結局モチベーションなのです。危機感をもって今日から始めて下さい。

## 今こそ見せよう 志木会のパワー!!

ご存知の様に母校では創立50周年記念事業の一環として、寄附金を集めています。この際寄附金の使途は学校側にまかせるとして、『志木会』のパワーをより広く全世界の塾員に見せようではありませんか。『どうやって見せるのか?』 答は簡単です。この寄附金は、一度慶應義塾に納付されてから志木高に配分される形を採っていますので、「指定寄附金申込者芳名」として「三田評論」に貴兄の御名前がド・ドーンと載ります。従って『志木会』でいかに多くの会員が母校の為に寄附をしたかが、「三田評論」を通じて全世界の塾員に知れ渡る仕組みになっている訳です。

さあ、振込みをすっかり忘れていた方。まだ振込みがお済みでない方。今号の会報に振込み用紙が同封されています。金額は問いません。99年3月末までに何人の会員が母校の為、後輩の為に寄附に参加したかが全てです。既に一度お振込み頂いた方、もう一度如何がですか! 今すぐ振込み用紙にサインして、郵便局にLet's Go!

## ホームページ開設に当たって

志木会の皆さん、母校、慶應義塾志木高等学校は本年創立50周年を迎え、創立以来の卒業生の総数も11,000名となりました。志木会も発足以来10年が経過し、皆さんのご協力により、軌道にのせる事ができ、昨年は東海地区の会員のご努力により、東海支部が発足いたしました。卒業生は全国各地、世界各地で活躍されていますが、志木会をさらに発展、活性化するためには幅広い会員の皆さんの参加が不可欠です。会員相互の向上と親睦、さらに母校の発展、向上に寄与するために、会員の皆さんとの情報伝達を会報を通じて実施してきましたが、更に情報を早く、お伝えするためにホームページを開設することに致しました。ホームページを通じ、新たな情報交換が出来ることを期待しております。

会員の皆さんの積極的なホームページへの参加をお願い致します。ホームページ開設に当たり、20期金子博志さんのご努力に感謝致します。

1998年10月

慶應志木会会長 多田 毅

# ぬかりや倉庫

代表 忽滑谷 岱司 (2期)

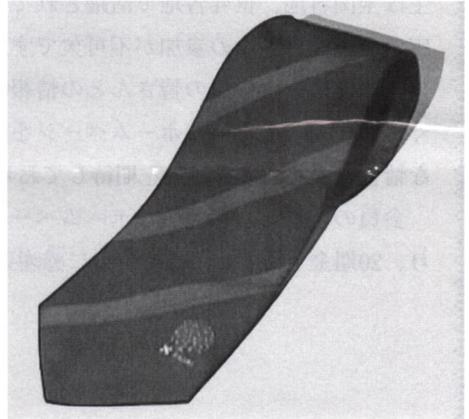
埼玉県入間郡三芳町竹間沢 7 2 6

電話・FAX 0492-58-4046

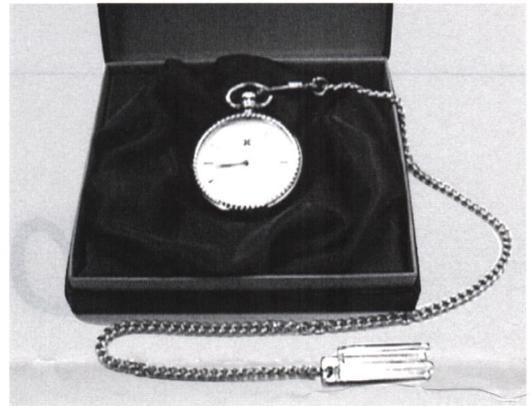
## 総会記念品追加販売のお知らせ

第三回慶應志木会総会の時に販売いたしました記念品が好評につき、追加販売いたします。  
販売数量に限りがありますのでお早めにお申し込みください。

オリジナルネクタイ  
3,500円  
オリジナル腕時計  
5,000円  
オリジナル懐中時計  
8,000円



送料 申込1口につき 700円  
(2個/2種類以上でも700円です)



下記へお申し込みの上、振込お願いいたします。

申込先

金子博志 (20期) 自宅 〒344-0067 埼玉県春日部市中央3-3-4-407

TEL/FAX 048-761-5099

勤務先 ニューウォールシステム株式会社 企画部

TEL 5226-2720

FAX 5226-2725

振込先 住友銀行 わしの宮支店 普通 352687 口座名義 金子博志

■ 役 員 ■

- 名誉会長 鐵野 善資 (校長)
- 会長 \* 多田 毅 (7期)
- 最高顧問 \* 櫻井 英太郎 (1期) 顧問 \* 五老 輝彦 (9期)
- 副会長 龍田 正浩 (主事) \* 品川 雅貴 (12期) \* 本橋 重夫 (15期)  
\* 西村 孝一 (17期)
- 監事 龍野 和久 (1期) 菅原 武 (7期) 荒木 幸生 (10期)
- 幹事長 \* 大谷 熙 (1期)
- 幹事長代理 \* 伊藤 清一 (12期)
- 幹事、世話人

期	氏名 (*印世話人)			
1	藤井 淳	宮代 茂		
2	鴻田 一章	遠山 正秀	惣滑谷 信司	
3	品川 仁	岩崎 勝利	菅野 光男	
4	高橋 公郎	立岡 進	* 藤岡 民良	伊藤 金次郎
5	* 宮田 勝	* 寺嶋 延行		
6	真野 信裕	松本 福太朗		
7	鈴木 正治	早川 進	渡辺 忠彦	熊崎 順次郎
8	* 青木 宏至	大須賀 均	磯部 和宏	
9	* 久保田 晃功	南部 達雄	加島 延夫	今村 信男
10	馬場 紘二	* 柳内 功	齊藤 彰	
11	* 鴻田 益孝	* 桜井 馨	馬淵 祥宏	
12	* 大道 賢二	* 伊藤 清一	朝倉 和行	原田 雄介
13	* 千葉 宗雄	清水 武寿		
14	* 小林 好二	土方 雅彦	加藤 武仁	佐藤 英孝
15	* 小笠原 準一	* 原田 薫	倉田 伸二	早川 義一
16	川端 清治	工藤 親彦		水町 亮一
17	* 須永 泰司	莊 敬典	宗田 文明	富士 滋美
18	奥村 一人			
19	* 中西 廣策	* 星野 恭一郎	村上 功治	
20	中 一弥	* 金子 博志	杉 雅俊	
21	* 福地 敏之	* 飯島 敏一	* 内山 洋一	
22	* 金子 康雄	桜井 造雄		
23	* 中村 弘司	* 谷口 治	夏目 雅潔	
24	* 赤木 均	* 島影 幸有	田沼 潔	
25	高崎 宣行	* 小川 洋	島田 徹	
26	* 山崎 嘉正	金子 泉		
27	吉野 幸宏	* 轟 幸夫	金森 悟繁	
28	大館 信	望月 一	淵岡 繁	
29	木村 尚行	大熊 伸治		
30	岸田 一男	木島 一郎		
31	内匠屋 健	曄道 佳明		
32	町野 素久	横江 資友		
33	小玉 裕	河野 潔		
34	山下 孝	宇賀神 隆	渡辺 英雄	
35	松島 修	業天 浩二	須佐美 文忠	
36	笛木 儀久			
37	鍋島 康友	永田 博詳	植島 博之	
38	知久 康成	中里 栄基	金子 隆則	
39	* 丸山 和紀	* 岡本 健司	田中 浩樹	
40	* 井上 晴生	税所 篤史	齊藤 仁	
41	* 柏木 徹			
42	小島 圭	* 安 重煥		
43	藪原 一暁			
44	宮田 真詩			
45	小山 一	* 若松 洋雄		
46	伊集院 弘和	川崎 聡		
47	谷 嘉康	森 茂之	小寺 俊且	西本 祥仁
48	* 岩崎 弾	龜山 雄高	黒川 真行	

# MESSAGE

- 平成9年度慶應志木会の収支決算につきましては、3月13日（金）に開催されました幹事会において次のとおり承認されましたので報告いたします。

平成9年 慶應志木会事業収支 (97.04.01-98.03.31)

平成10年3月31日現在

科 目	収 入 金 額	科 目	支 出 金 額
新 入 会 費	1,055,000	会 報 費	2,170,320
名 簿 収 入	20,000	会 議 費	1,151,721
広 告 収 入	3,328,845	式 典 費	170,000
預 金 利 息	41,534	人 件 費	739,200
打 上 会 費	108,000	交 際 費	288,794
会 費	50,000	収 穫 祭	500,000
		事 務 費	116,797
		通 信 費	2,021,285
		振 込 手 数 料	29,610
		名 札 代 金	124,930
		寄 付 費	500,000
		パソコンソフト等	333,165
		総 会 案 内 状	2,100,000
(総会関係収入)		(総会関係支出)	
パーティ収入		総 会 関 係	
・事前振込	10,130,000 (1,013人)	・フォーラム	13,180,342
・当日入金	1,930,000 (161人)	・イベント費	1,741,200
・同期会	1,279,200	・コンパニオン	262,500
(小計)	13,339,200	・ビデオ	215,000
		・その他	287,181
物 販	2,972,950	(小計)	15,686,223
福 引	2,566,000	物 販	4,027,875
写 真	904,500	福 引	2,552,567
来賓関係	200,000	写 真	683,191
(総会関係収入計)	19,982,650	(総会関係支出計)	22,949,856
収 入 計	24,586,029	支 出 計	33,195,678
前期繰越金 (97.03.31)	20,288,451	前期繰越金 (98.03.31)	11,678,802
合 計	44,874,480	合 計	44,874,480

## 編 集 後 記

今回の志木会会報より編集に参加しましたが、大学の湘南藤沢キャンパスの秋祭パンフレットの入稿時期と重なり、各種方面にご迷惑をおかけしました。原稿を手伝ってくれたK君ありがとうございます。次号の会報では30期、40期代の力をより集結させ、より楽しい会報をつくりましょう。同士求む(D)

## 慶應志木会会報 1998 ●Vol.18

平成10年10月30日発行  
 編集・発行 慶應志木会 (慶應義塾志木高等学校同窓会)  
 〒353-0004 志木市本町4-14-1  
 発行人 多田 毅  
 印刷 (株)精興社